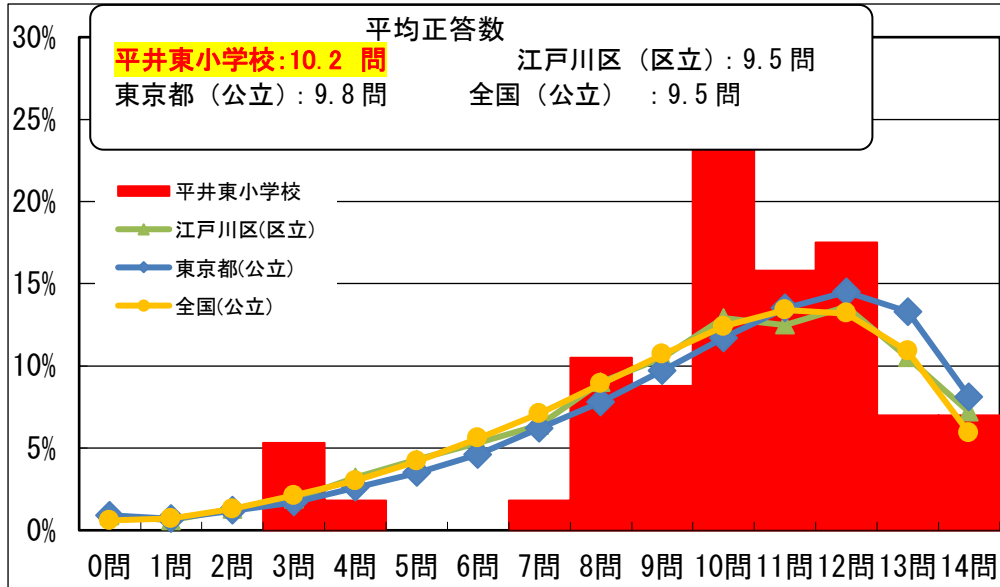


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 平井東小学校

正答数分布



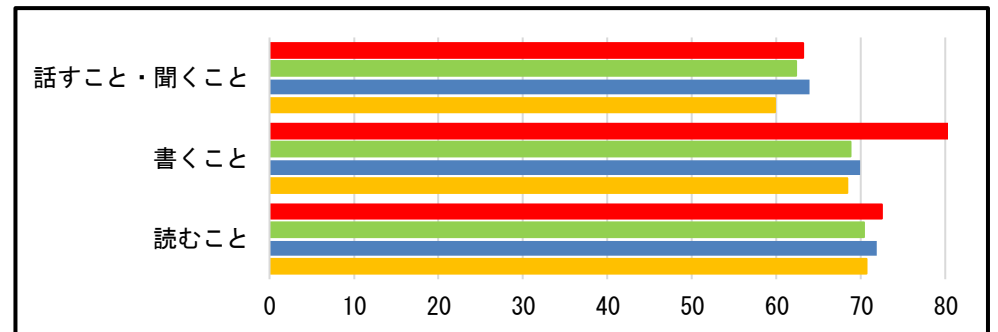
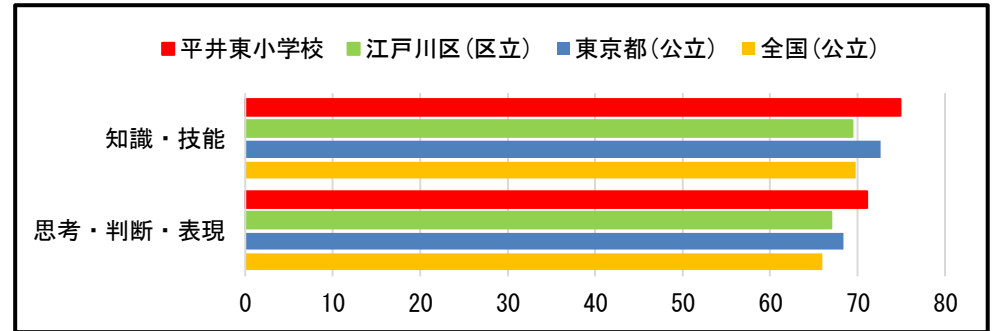
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
平井東小学校	31.5	40.4	19.3	8.9
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

平井東小学校	73%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	3ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答率は、10.2問であり、東京都の平均と比較すると0.4問多く解答している。四分位における割合も、A・B層が高く、C・D層が低くなっている。

領域別の結果より「話すこと聞くこと」の数値が他領域に比べ低い。授業改善に向けて、本校の研究主題にも絡め、対話的な学習を教科横断的に行い、国語の「話すこと聞くこと」の学習でそれらをまとめたり、補完したりする。そうすることで、相手の話を聞く態度や、大事なことを聞き落とさないようにする技能、伝えたいことをわかりやすくまとめて伝えられるようにする思考力を育成していく。